



お茶会をより楽しむための 豆知識



1 茶の湯の精神「一期一会」について

一期一会の意味は、茶道に由来する日本のことわざ・四字熟語です。

茶会に臨む際には、その機会は二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるということを心得て、亭主・客ともに互いに誠意を尽くすという心構えが大切です。

2 茶道の精神 和敬清寂とは？

和・・・お互いに心を開いて仲良くする

敬・・・自己を慎んでお互い尊敬し合う

清・・・目に見えるだけの清らかさではなく、心の中も清らかに

寂・・・何事にも動じない心を持つ

以上の心得を持って、亭主と賓客が茶会に臨みましょうという意味です。

3 お茶会のお菓子は どうやって決めているの？

茶道は季節感を大事にするので、お菓子もその季節に合ったものを選びます。

(例として春は桜餅、夏は水羊羹、秋は栗きんとん、冬は常盤饅頭など)

このようにお茶会のお菓子は、ただ食べて楽しむだけでなく、四季を感じながら目で楽しめる工夫をしています。

4 和菓子に欠かせない道具の黒文字とは？

黒文字とは、和菓子をいただく時に使う楊枝のことです。

樹皮に黒い斑点があるクスノキ科の落葉低木「クロモジ」で作っていることが名前の由来です。

5 なぜお茶を飲む前にお菓子を食べるの？

抹茶にはカフェインが入っているため、空腹時に飲むと胃を刺激するのでそれを和らげるためです。

また先にお菓子を食べることで、口の中にほのかに甘み残り、抹茶の美味しさをより引き立てるという役割もあります。



6 お茶会での扇子の役割について

扇子は、平安時代頃から儀礼や贈答でのコミュニケーションの道具としても用いられていました。例えば和歌を書いて贈ったり、花を載せて贈ったりなどです。よって茶道でも、人と挨拶をするとき、席に入るとき、道具を拝見するとき等に使います。

また扇子は相手と自分の間に置いて境界線を引くという役割もあります。これは、一歩下がって謙虚な気持ちで相手を敬うという態度を表しています。

7 床の間にある掛物と花について

掛物は本日の茶会のテーマを暗示します。またどのようにお客様をもてなしたのかという亭主からのメッセージも込められています。

花は茶室の雰囲気を考えながらその季節のものを選びます。見た目の豪華さを求めるのではなく、自然に咲いている形で花入にいれます。

8 茶道具を拝見することはできるの？

もちろんです。

茶会で用いたお道具の形や作者、銘など知りたいことを質問しましょう。

亭主は慎重に道具組みを決めています。

客がその心を汲み取ることも亭主に対する礼儀でもあります。

